

第十一回新潟県作業療法学会
 出会い〜くらしによりそいその未来^{さき}へ

冠難辛句^{ともいき}によむ

共生^{ともいき}のあり方

病いとは 障害とは 生活とは

作業療法士 山根 寛



● 病いや障害があっても町で暮らす運動を始めたときから
 何が変わったのか

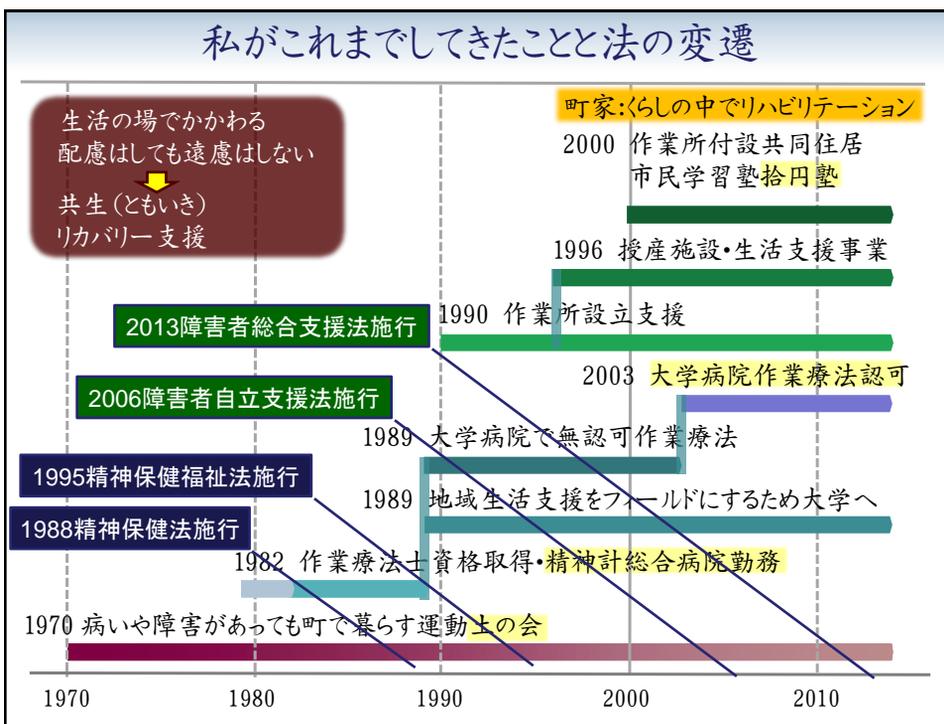
● 精神認知機能の障害と作業療法

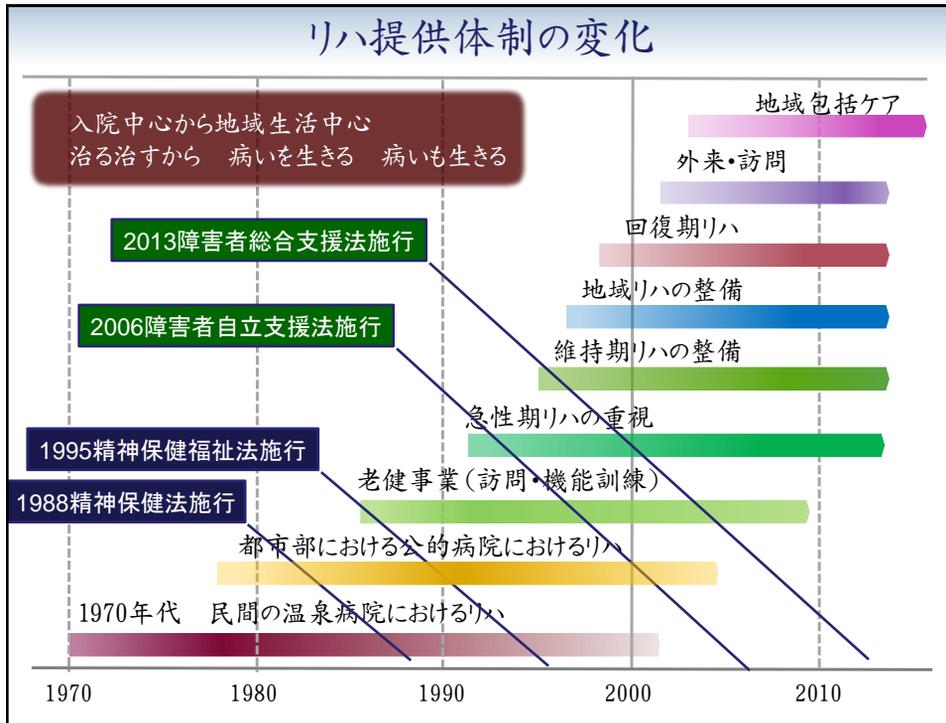
● 冠難辛句によむ

● あなたが心の車いす



私が作業療法士になったのは32歳
あれから33年
いつの間にか
どこまでが仕事なのか
遊び趣味なのか
区別がつかなくなった
つげなくてもよくなった
作業療法は最良であれば
あるほど
あつけないほど単純で
自然なものになる
その平凡で豊かな日常性が
自然な治癒力を引き出し
病いを治すことから治る
病いを生きたる視点を
照らし出す
その技の支えに
「作業の知」「作業の力」がある



精神認知機能の障害とは

慢性的な障害

- ・ 高次脳機能障害によるもの
- ・ 物質依存(薬物, アルコールなど)による脳実質の変性

長期的な障害

- ・ 統合失調症などの精神疾患にともなうもの

心因的な精神疾患にともなうもの

- ・ 神経症性障害など

一時的な障害

- ・ 震災や身体障害, 難病の罹患などにおける喪の作業の初期に観られるもの
- ・ 意識が清明でない状態に観られるもの

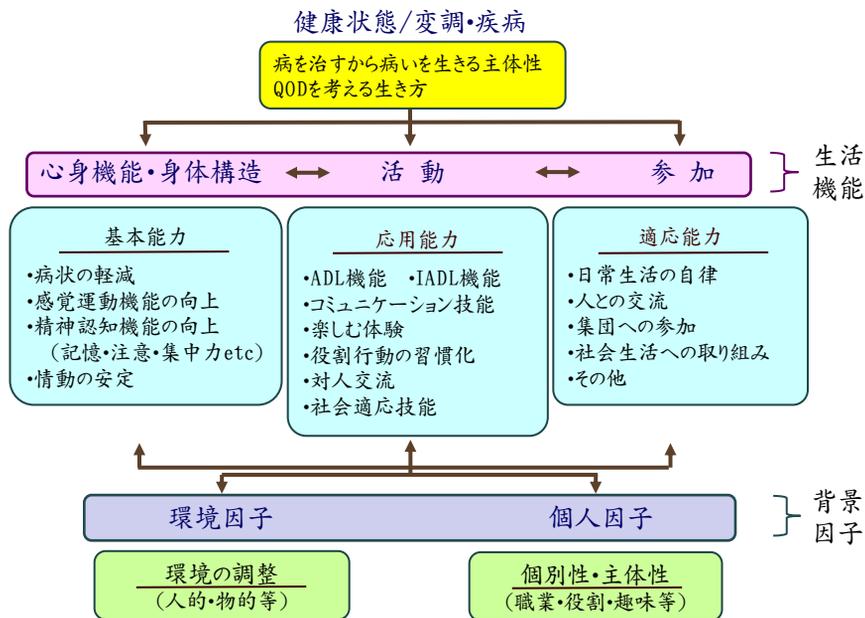


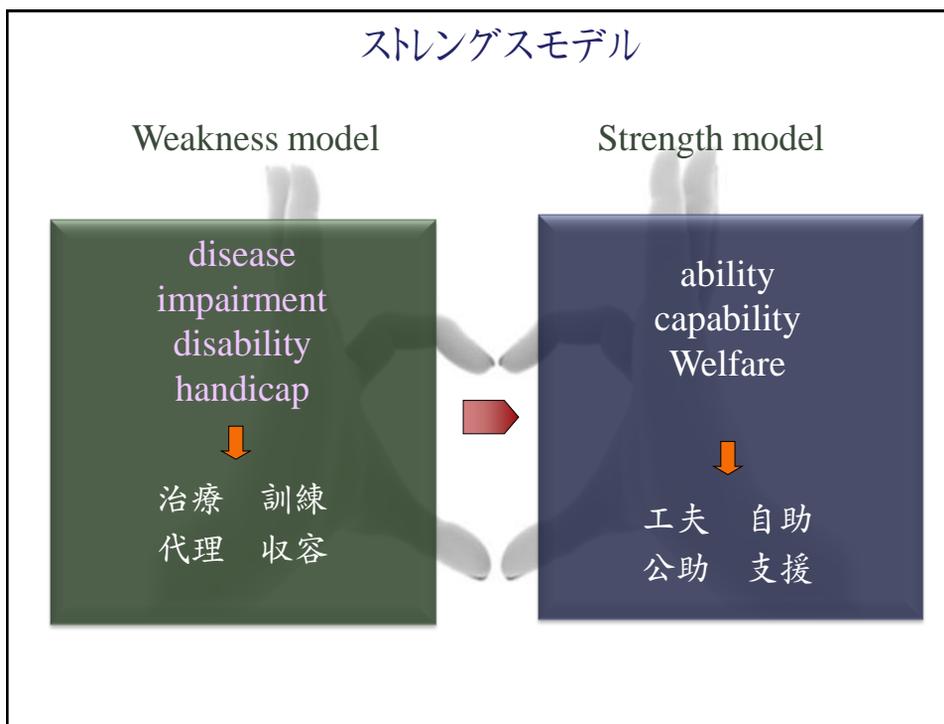
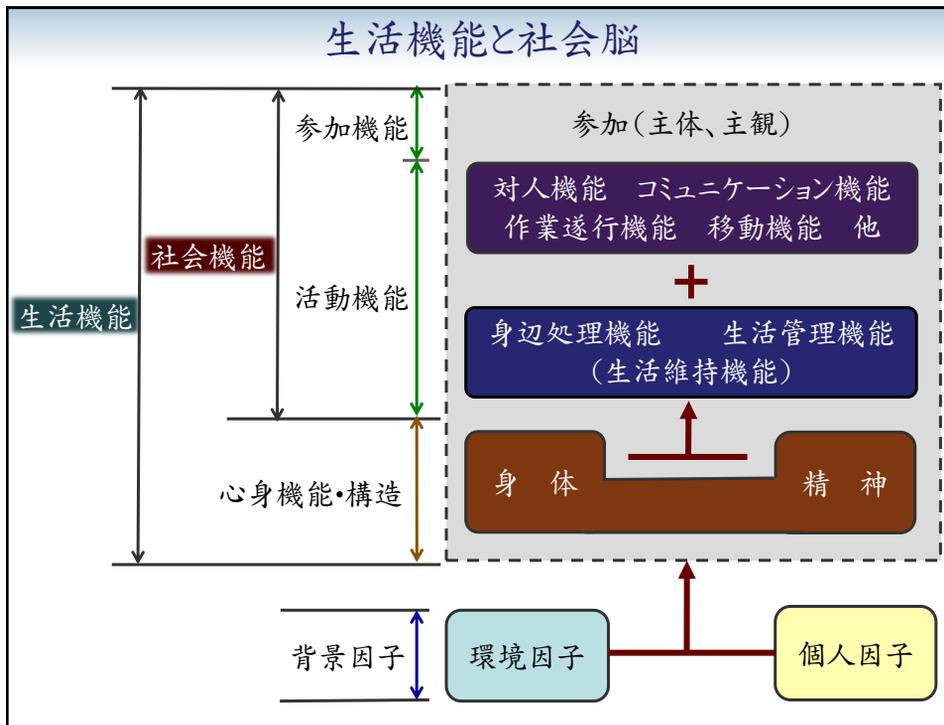
精神認知機能障害に対する作業療法

- 特性** 対象の状態とニーズに応じて作業や構造を組み替える
- 役割** 生活機能評価(心身機能, 活動状態, 生活環境, 他)
生活支援機能(機能障害の軽減, リハビリネス, 生活技能の習得汎化
リハビリ支援) → **社会脳の働きup**
- 機能** ことばと作業により脳機能を直す
具体的な目的行動・体験による自己認識と行動変容
- 手段** 生活行為, 創作表現活動, 身体活動, 他
- 領域** 医療, 保健, 福祉, 教育, 就労, 他

ストレングスモデルに基づき 具体的な生活行為を通して
 個々の生活機能を評価し 急性期はリハビリネス
 回復期は生活とリハビリ支援 → **社会脳の働きup**

作業療法の視点



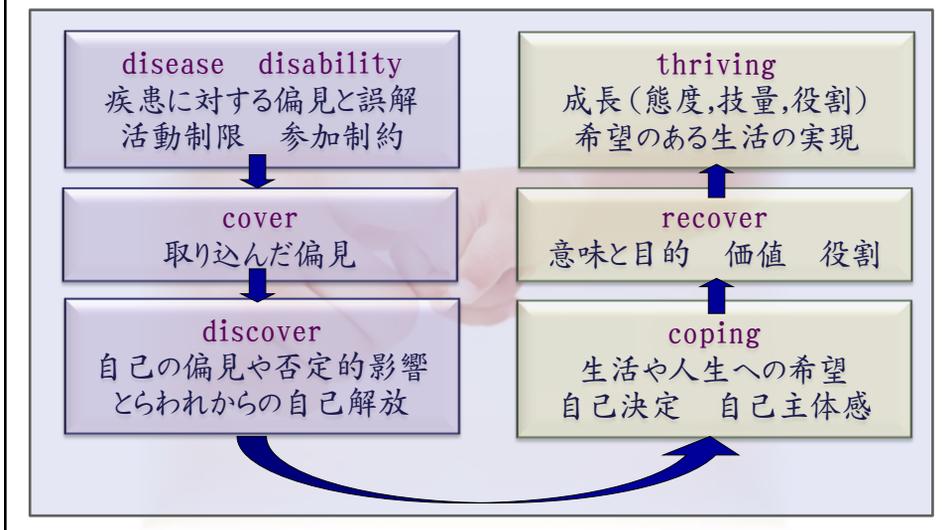


リカバリー

当事者の体験から生まれた
病いを生きるともいえる概念



病いを生きる 病いも生きる



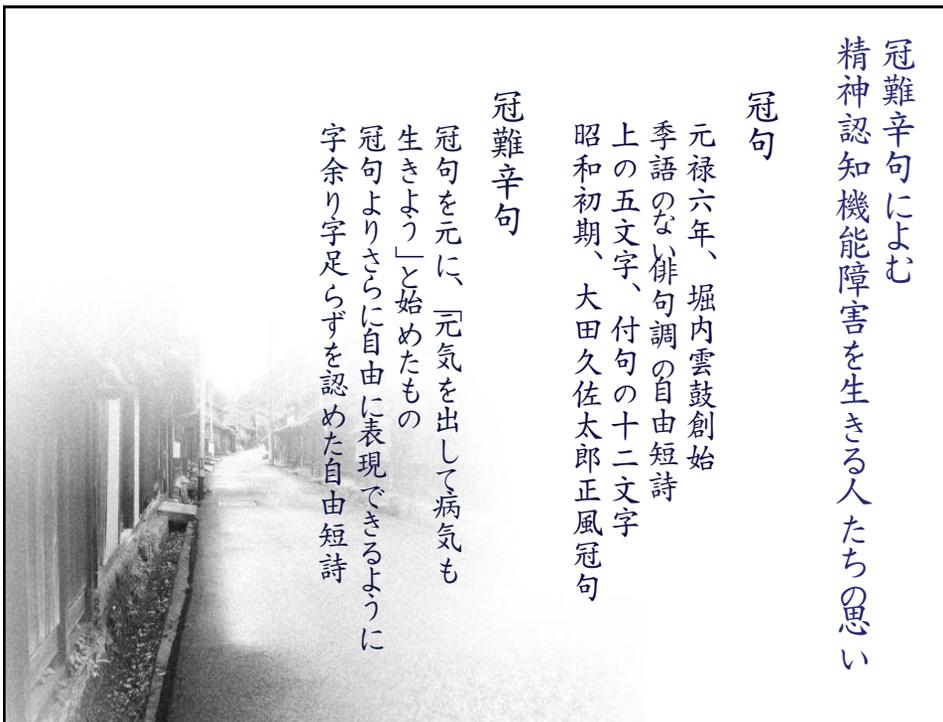
冠難辛句によむ
精神認知機能障害を生きる人たちの思い

冠句

元禄六年、堀内雲鼓創始
季語のない俳句調の自由短詩
上の五文字、付句の十二文字
昭和初期、大田久佐太郎正風冠句

冠難辛句

冠句を元に、「元氣を出して病気も
生きよう」と始めたもの
冠句よりさらに自由に表現できるように
字余り字足らずを認めた自由短詩



統合失調症

統合失調症 名前変えても俺いつしょ

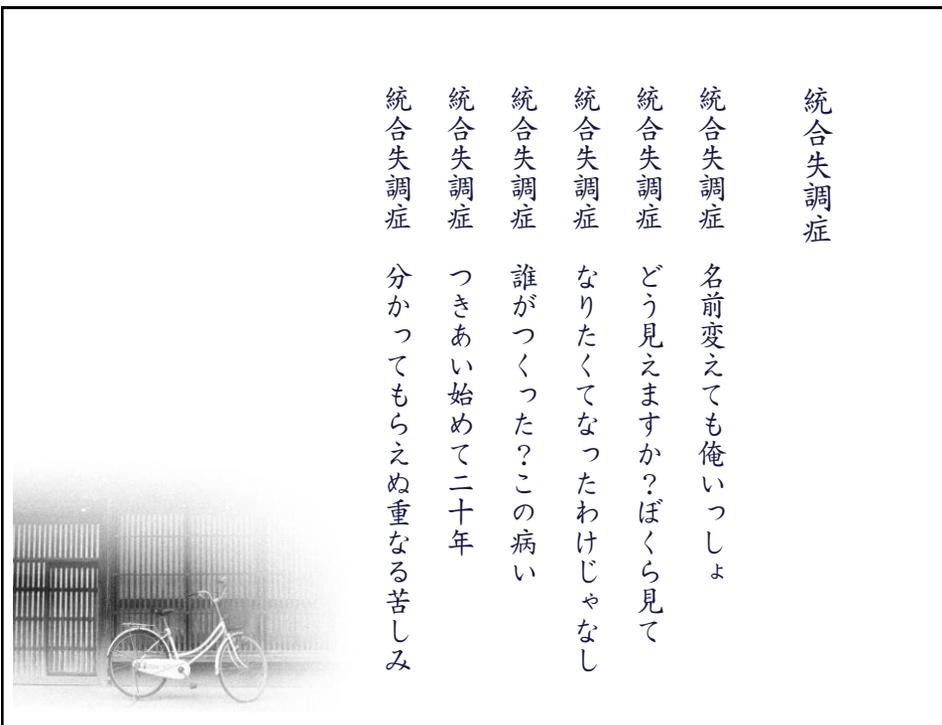
統合失調症 どう見えますか？ぼくら見て

統合失調症 なりたくてなったわけじゃなし

統合失調症 誰がつくった？この病い

統合失調症 つきあい始めて二十年

統合失調症 分かってもらえぬ重なる苦しみ



小さなこと

小さなこと なんですけどね気になるのは

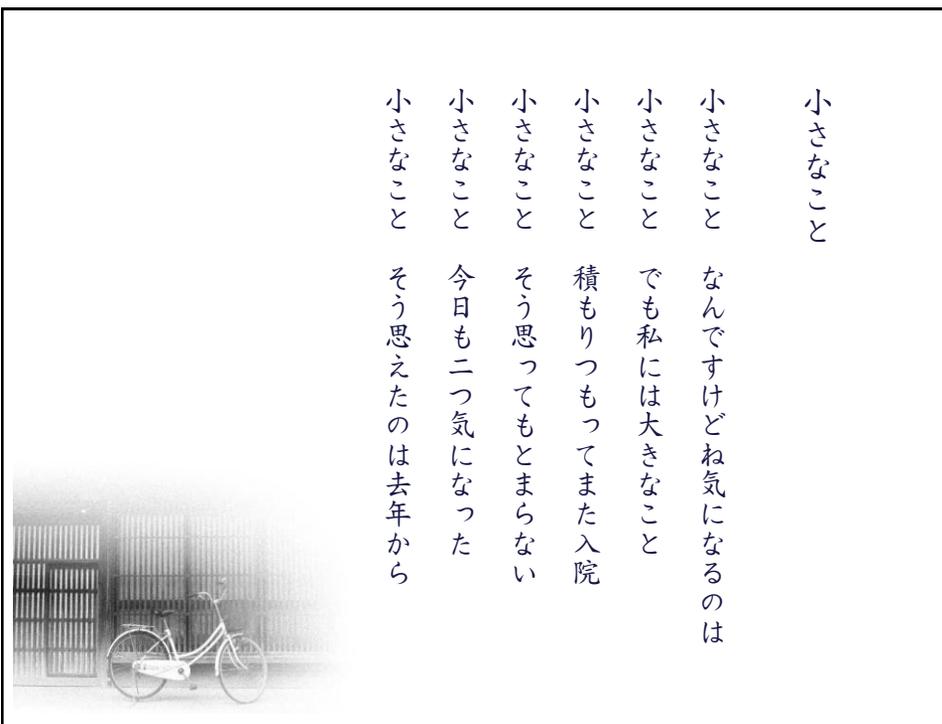
小さなこと でも私には大きなこと

小さなこと 積もりつもってまた入院

小さなこと そう思ってもとまらない

小さなこと 今日も二つ気になった

小さなこと そう思えたのは去年から



小さなこと その二

小さなこと そう見えますか手洗い足踏み

小さなこと 今日も私を苦しめる

小さなこと 積もり積もってまた入院

小さなこと なければ寂しいあれば苦しい

小さなこと 今思えばそうですね

小さなこと アハッ！いやだもう忘れたい



恋煩い

恋煩い 会って苦しい会わなくても苦しい

恋煩い ああこの病いにあの病い

恋煩い 知らなかったよこの苦しき

恋煩い 会うとつらくて休んでいます

恋煩い 勇気を出してマフラー頼み

恋煩い 頼んだマフラー編み貸とられ



恋煩い その二

恋煩い 羨ましいわ煩いたいわ

恋煩い 煩うこともなくこの病い

恋煩い 煩う元気が羨ましい

恋煩い おんなじやなあ薬効かへん

恋煩い 大丈夫よ時間が薬

恋煩い 時間が薬？どう飲むの



初恋？

初恋？ 声もかけずに写真だけ

初恋？ 写真を抱いて保護室の窓

初恋？ 私にもありました三度ほど

初恋？ 友達でいよつと言われたの

初恋？ 自殺未遂も二度ばかり

初恋？ 忘れるまでに五年の月日



認知症（その一） 「ボケの花」

ボケの花 忘れたことをまた忘れ

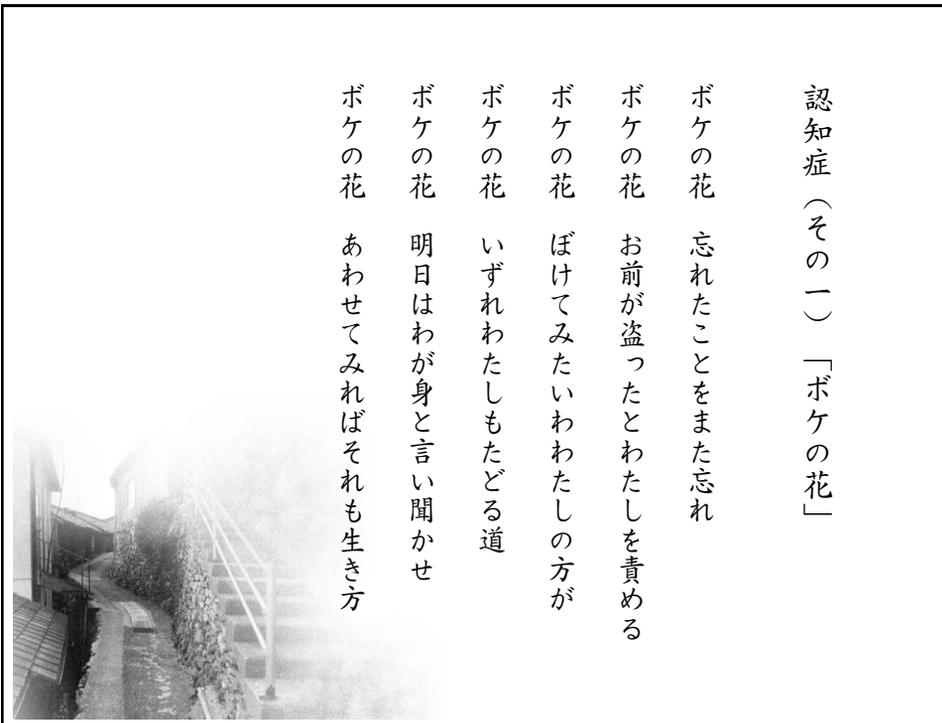
ボケの花 お前が盗ったとわたしを責める

ボケの花 ぼけてみたいわわたしの方が

ボケの花 いずれわたしもたどる道

ボケの花 明日はわが身と言い聞かせ

ボケの花 あわせてみればそれも生き方



認知症（その二） 「認知症」

認知症 きれいに咲いたボケの花

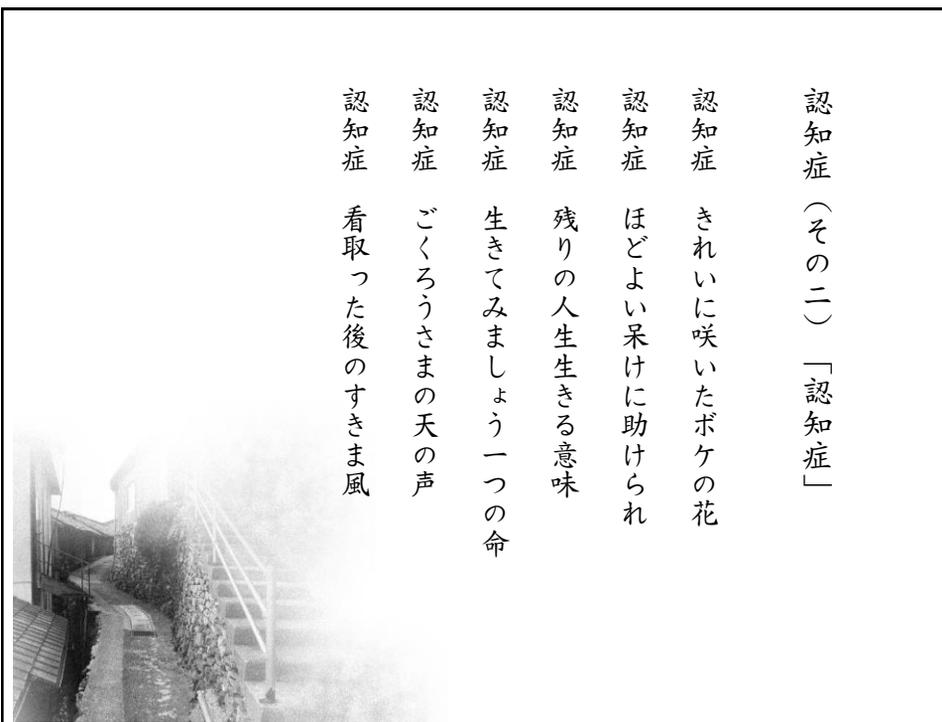
認知症 ほどよい呆けに助けられ

認知症 残りの人生生きる意味

認知症 生きてみましよう一つの命

認知症 ごくろうさまの天の声

認知症 看取った後のすきま風



介護する（その二）

介護する 見えぬ結果に重なる疲れ

介護する 明日はわが身と言い聞かせ

介護する 疲れを癒すありがたいの声

介護する 他人の距離に救われる

介護する わたしのゆとりが救急車

介護する 配慮はしても遠慮はしない



作業療法

作業療法 許しててくださいたくさんしました

作業療法 もうええですわただ働き

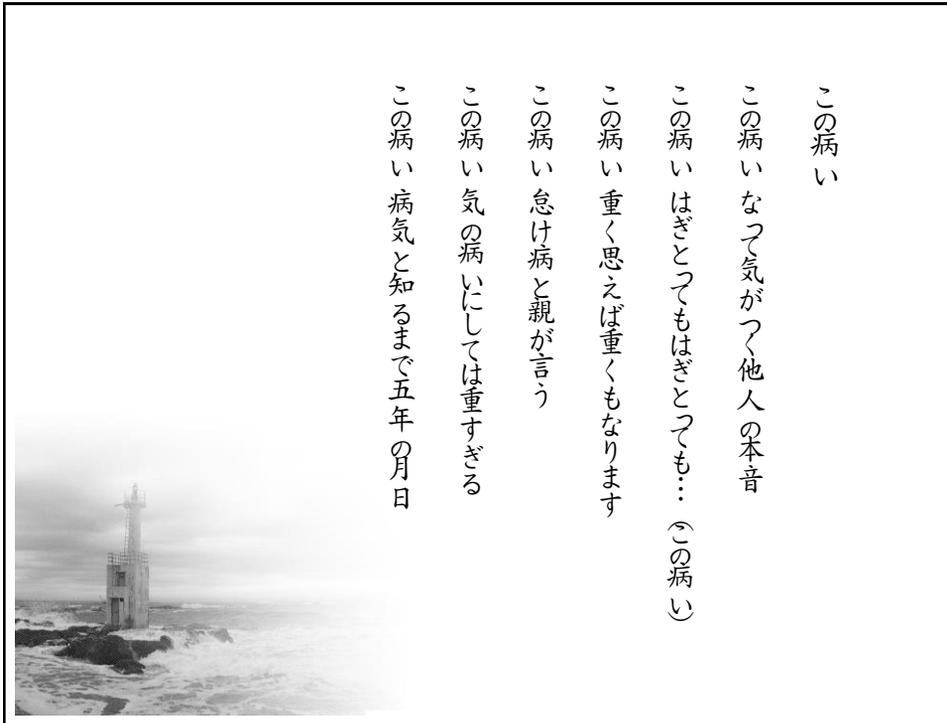
作業療法 ジュースもでんのか今度の作業

作業療法 ホントに退院できますか

作業療法 置いてください死ぬまでここに

作業療法 子どもだましのゲームに手芸





この病い

この病い なつて気がつく他人の本音

この病い はぎとつてもはぎとつても… (この病い)

この病い 重く思えば重くもなります

この病い 怠け病と親が言う

この病い 気の病いにしては重すぎる

この病い 病気と知るまで五年の月日

楽しむ作業？

楽しい作業ではなく
楽しむ作業
ここでボタンをかけ間違えると

生活行為(日々の作業)の質を高める



必要なのは作業することを楽しくすること
日々の作業(生活行為)が楽しくできること

ひとの惑いに
 かかわる者に
 求められるのは
 賢しき
 知識より
 ひととしての
 深み
 ひとの痛みに
 かかわる者に
 求められるのは
 賢しき
 理性より
 ひととしての
 深み
 ひとの暮らしに
 かかわる者に
 求められるのは
 賢しき
 聡明さより
 ひととしての
 深み

作業を楽しむ 作業することを楽しくするには
 作業療法士が生活を楽しむことができることが必要
 楽しい生活だけでは生活を楽しむことはできない



ささえあつて

ひとがひとにかかわり
 ひとがひとをささえる
 ささえていたと思っていたら
 わたしが
 しつかりささえられていた
 なんだか
 うれしくなつた



作業療法のよりそいは
 あなたと そして あなたが共にあるひとに
 生きる力と 楽しみを もたらしませ

Et. Hyg
 (also)